



流域1万人だより 011～020

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

011. 篠山校区公民館 (2004.07.29)

012. 鳥飼校区公民館 (2004.07.29)

013. 筑後川関係漁業者意見交換会 (2004.08.04)

014. 安武校区公民館 (2004.08.04)

015. 大善寺校区公民館 (2004.08.04)

016. 長門石校区公民館 (2004.08.04)

017. 原鶴温泉旅館組合定例会 (2004.08.04)

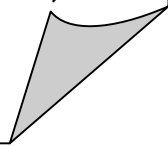
018. 久留米市宮の陣校区にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.08.21)

019. 山川校区公民館にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.08.25)

020. 大川市 大川コミュニティセンター (2004.09.03)



流域1万人だより VOL.11

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

篠山校区公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月29日(木)に篠山校区公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

【篠山校区での今後の展開】

9月17日(金)住民懇談会

場所：篠山校区公民館

時間：19時30分～

篠山公民館でのヒアリング

【昔の筑後川について】

昔は筑後川の水はそのまま飲めるほど水質がきれいだった。当時学校にはプールがなかったため、

水泳の授業は筑後川で行っていた。また筑後川で泳いだり釣りしたり洗濯したりしていた。放水路には砂浜が広がり、そこでは夏にシジミがザルいっぱい採れていた。現状のコンクリート護岸では自然浄化できない。子どもたちには「川には近づくな。危ない。」と話している。

放水路の堤防は桜並木で、そこでよく花見をしていた。堤防の改修時に撤去された。残念だ。昭和10年にあった水害では旭町で床上1尺ほども水があがった。机の上に畳をあげて、その上にタンスを積んで避難した。

【舟運について】

昔は日田から大川までイカダで下っていた。京町には鎮所があった。

篠山は旧城下町であり、篠山城の下に旧有馬藩の史跡があった。観光資源として使えるので、船着き場を整備して活用を図りたい。水天宮・梅林寺・篠山などを生かした筑後川での古城巡りを観光ルート化したい。

【ゴミ対策について】

篠山城北側は若者によるゴミ捨て場になっている場所がある。地域で掃除をしている。

【筑後川への夢について】

篠山城の裏の篠山排水ポンプ場付近に誰も知らないような広場がある。そこを利用して皆が集えるような施設をつくって欲しい。テニスや野球やサッカーなどをやりたい。篠山校区はさほど川に面していないので、筑後川に出て行くというほどの親しみがあまりない。堤防の上を道路にするのもいいけど、桜を植えるなどして環境づくりを行って欲しい。久留米大学付近の堤防は誰も利用していない。



流域1万人だより VOL.12

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

鳥飼校区公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月29日(木)に鳥飼校区公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者：鳥飼公民館長及び自治協会長及び久留米市市議、国(調査課)4名、久留米市(河川課)1名

鳥飼公民館でのヒアリング

【昔の筑後川について】

昔の筑後川は見渡す限り砂浜が続いていた。神代橋の右岸は畑で、そこから飛び込んで泳いでいた。JRの鉄橋からも飛び込んでいた。筑後川も深いところが当時はあった。またS20年代はリバーサイドパーク付近は牧草地だった。東櫛原の桜並木はとてもきれいだった。当時は菜の花なかった。砂浜で遠足を行い、網でしじみを捕っていた。

鳥飼校区では豆津橋下で子どもたちを泳がせていた。「水上駅伝」なるものが当時はあって、原鶴から水天宮くらいまで橋を中継地点にして泳いだり歩いたりしていた。この「水上駅伝」はS20～S40年代くらいまで続いた。櫛原中学校は強豪だった。だいたい20～30チームくらいが出場していた。大人も子どもも参加したイベントだった。宮入員の問題もあったが、体にアンモニアを塗って出場したりしていた。

【ゴミ対策について】

筑後大堰があるためゴミがたまる。散歩していても犬の死骸などを見かけることもある。金丸川からゴミが流れてくることもある。環境が悪くなったのを感じる。

【筑後川への夢について】

天建寺橋からは迂回しないと通れないので、大変面倒に感じている。遠方から来た人も道に迷ったりしている。広川との合流点付近に橋をつくってアクセスしやすくしてほしい。また久留米高専の前に橋があればいいなと感じている。舟で通るときに景観のいいものをつくってほしい。河川敷を消防団の訓練場所としてもっと利用していきたい。

【舟運について】

吉井・城島・大川は三大港として栄えていて、米などを運んでいた。城島の港が発展していたので、西鉄の線路を通すという話も出ていたが、別ルートを通すことになった。またイカダには火鉢を置いて食事などをしていた。上流から下流まで下るには丸一日かかった。イカダには犬も乗せていた。イカダの大きさはタテ100Mヨコ10Mほどあったと思う。

【昭和28年の水害について】

大刀洗川の左岸側の堤防が切れたのを見た。古賀坂の金丸川を破って安武町のほうへ水が一気に流れ込んだ。





流域1万人だより VOL.13

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

筑後川関係漁業者意見交換会において、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は8月4日(水)に久留米市ブリヂストンクラブで開催された筑後川関係漁業者意見交換会において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者：筑後川関係漁業者24名、国30名

頂いた御意見

【意見聴取の場について】

各漁業等においても、一万人会議の一環として意見聴取の場を設けて頂きたい。
流域委員会の内容を広く知らせて頂きたい。(いつ行っているか等、わかりづらい。)

【ゴミ対策について】

ゴミの不法投棄対策として、ゴミの持ち帰り一声運動等、漁協としても協力していきたいと考えているが、国からの支援を受ける形で巡視出来る方法を考えて頂きたい。

【葦焼きについて】

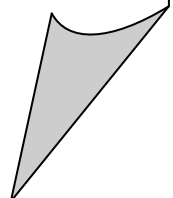
現在は葦を焼く事が出来ず、人力で刈る事も滞っているため、伸び放題である。
昔は葦を焼いており、そうする事で景観も保たれ、よい葦が成長していた。

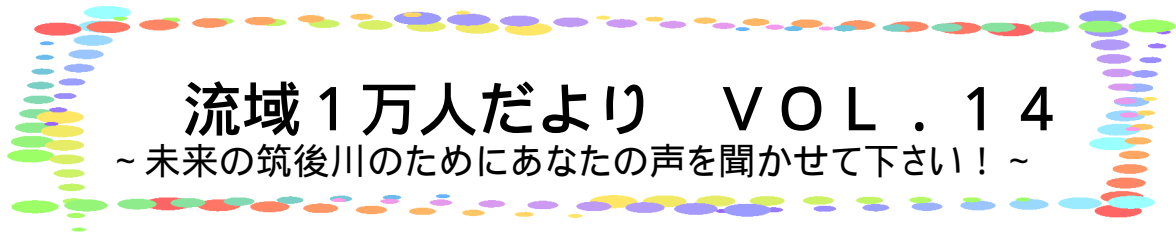
【水質保全について】

河川敷にあるゴルフ場の管理(除草)は、無農薬で実施して頂ける様、国からの指導をお願いしたい。

【ガタ土撤去について】

舟運等の為、ガタ土を撤去して頂きたい。





流域1万人だより VOL.14

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

安武校区公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は8月4日(水)に安武公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者:安武校区公民館長及び自治会長ほか2名、国(調査課)4名、県(河川砂防課)1名、市(河川課)1名

安武校区公民館でのヒアリング

【舟運について】

安武を舟運観光の拠点にしたい。安武にはウナギやコイやエツなど郷土の特産品がある。

せっかくの地域資源をぜひ生かしたい。

河川情報館「くるめウス」が当初は安武に建設される予定だった。現在は合川に建設され、安武はさびれた印象になっている。防災施設、観光的なものを建設して欲しい。

大堰の下流にでも砂場があれば、もっと筑後川に親しめると思う。また筑後大堰は観光客が来るほど珍しい観光地にもなっている。ぜひ大堰を生かしたい。安武は観光・町の活性化について、河川整備計画に強い希望を持っている。

【治水対策について】

昭和28年の際に安武堤が崩れた。金丸川との合流点付近が危ない。この付近はよく床上浸水する。

筑後大堰付近では小河川での氾濫が多い。ポンプを増やすか排水施設を増やすなどして対策をたてて欲しい。安武川も少しの雨で浸水する。

今の堤防は川表側は強く出来ているが、川裏側は弱いと感じている。堤防強度の点検が必要。

【ゴミ対策について】

安武町の河川敷にはゴミの不法投棄が多い。また雑草が伸びすぎているため、捨ててもゴミが見えないため捨てる人が後を絶たずエスカレートしてしまう。こまめなゴミ対策・除草を行って欲しい。

流域1万人だより VOL.15

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

大善寺校区公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は8月4日(水)に大善寺校区公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者:大善寺校区公民館長及び自治会長ほか2名、国(調査課)4名、県(河川砂防課)1名、市(河川課)1名

大善寺校区公民館でのヒアリング

【治水対策について】

広川の佐賀側は水を止めるため杭を打って張り出してきている。そのため川幅はどんどん狭くなり、福岡側はえぐれてしまっている。大善寺橋～若宮橋までの間は未整備となっている。

広川の上流付近は蛇行しているため、水の流れが堤防にあたって堤防をえぐっている。

【昔の筑後川について】

昔は筑後川を利用した運搬を行っていた。イカダの船頭さんのことを「なかのりさん」と呼んだいた。付近には砂場が広がっていて、馬で対岸へ渡ったりしていた。馬は足の裏が腐るので、1日に1回は馬を川にいれて馬の足の裏を洗っていた。

今の広川の濁り方はすごい。昔は広川の水はとてもきれいだった。一時期エビがいなくなった時があったが最近戻りつつある。南部浄化センターが出来たおかげだと思っている。

筑後大堰ができてから水が濁るようになって汚くなった。また潮の干満差が大きく感じる。

最近エツが増えてきたように感じる。ちなみにシーズンオフのエツの骨は硬い。

アオ取水は竹島、土井外の上流、大堰付近でされていた。アオ(塩水)を採っててんびんぼうで売りに行っていた。

川の拡幅工事のため泥がたまり、それが餌となってウナギが増えた。三瀬峠を越えて福岡に売りに行った。ウナギは「富松」よりも「島崎」の方が歴史は古い。「島崎」が発祥ではなかったらうか。

城島は水がよくていいお酒をつくる。だが元の水は大善寺の地下水を使っている。広川の上流4K付近で地下水が湧いている。

【ゴミ・除草対策について】

若宮橋から北側の堤防では、あまりの雑草のために通行する車に傷がつく。雑草が生えすぎて離合ができない。また若宮橋の南側では川の中に柳が生えており、花が散ったり道路が見えなくなったりする。切って欲しい。

大善寺橋下の河川敷に大型ゴミを捨てる人がいて迷惑している。

【昭和28年の水害について】

昭和28年の水害の際は堤防がくえてヒビが2M程入り、一気に裏から崩れて切れていくのを見た。

また大善寺橋付近は300M程堤防が切れて水が溢れた。古賀坂の堤防も切れた。

昭和28年の水害前は年に3回ほど堤防決壊があった。



流域1万人だより VOL.16

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

長門石校区公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は8月4日(水)に長門石校区公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者:長門石校区公民館長及び自治会長ほか2名、国(調査課)4名、県(河川砂防課)1名、市(河川課)1名

長門石校区公民館でのヒアリング

【治水対策について】

昔は少しの雨が降っただけで大水になった。今は沼川から水が入ってくる。小学校付近が水に浸かってしまう。

【堤防道路について】

堤防道路をもっと利用したいが、幅が狭くて危ない思いをしている。特に沼川の堤防道路を広くしてほしい。

【昔の筑後川について】

昔は学校の水泳の授業で沼川に泳ぎに連れて行っていた。砂浜がきらきら光ってエビや魚が泳ぐのが見えた。しかし筑後大堰ができて瀬んでしまった。また沼川は土砂がたまって浅い。昭和49年まで渡しを利用していた。長門石には上津港という港があって、山口県の長門から石を運んだことで地名が「長門石」となった。





流域 1万人だより VOL. 17

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

原鶴温泉旅館組合定例会において、お話しを伺いました！！

参加者：原鶴温泉旅館組合員 16名

筑後川河川事務所 浦山課長、荒木出張所長、甲斐係長、村岡技官

主な意見

近年、筑後川の水量が少なく、水深が非常に浅いので、舟の行き来も難しくなってきた。原鶴周辺は現在も井戸水を使用しており、水面の高さの確保が重要である。

パークゴルフ場や原鶴分水路内の多目的広場に木陰になるような木があったらよい。

原鶴分水路内の多目的広場は雨が降ったら2、3日水たまりが残り、水はけが悪い。

今後、堤防に花を植えたり、花壇(プランター)を作りたい。

来年「花の国日本」の全国大会が原鶴で開かれる。この時に是非原鶴を売り込みたい。

遊泳できる区間や危険な箇所などのマップや看板等があったら良い。

原鶴温泉下流付近には瀬が存在するため、瀬をいじって遊覧船が下流へ行けるようになればいい。

先日、大山川を見に行ったら自然石などで整備されており、ここもそういう川になればいいと思う。

原鶴温泉の地点は堤防の高さが3、4m足りないということだが、景観を大事にした治水対策をお願いしたい。

中央橋の付近の河川用地内にモーターの看板がある。来年の「花の国日本」までにこの看板の撤去が出来ないか。印象が悪い。

洪水があると河床のヘドロをフラッシュして水もよく澄んで見えるのだが、今年は洪水がないから河床にヘドロがたまって見た目が悪い。ダムから放流でもしてもらえばよいのだが。

国交省コメント

河川には制限されることも多いが、出来ることもある。みんなで勉強していくことが大事である。

国交省だけでなく、官民が連携して取り組んでいくことが、これからは重要。

原鶴温泉の治水対策は難しい問題である。しっかり議論して考えていくことが重要。

会議の様子

前向きな意見が多かった。

多くの意見が出され、会議も終始活発であった。

会議終了後には拍手もあり盛況であった。

今後もこのような会を続けていきたいと大いに期待されていた。

会議写真



流域 1 万人だより VOL. 18

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

8月21日(土)に宮の陣校区公民館にて「筑後川の今昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、25名の地域住民の方から活発な意見が出されました！！

出席者	
国	11
県	2
市	3
住民	25

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は夏の湯水時など川の中に砂がたくさんあった。川の中州で遊んでいた。(復元を望む)
昔は川で魚釣りをしていた。最近の川は汚れが目立つ。蛍の棲める川にして欲しい(復元を望む)
小森野堰では筑後川の風物詩であるクモデ網で稚鮎を捕っていた。(復元を望む)

【治水対策】

堤防整備の早急な実施を求む。

【環境対策】

堰には魚道があるようだが、セメントで出来ている。魚道の作り方を工夫して欲しい。

【河川空間の整備】

左岸側と比べて河川利用空間の整備が遅れている気がする。右岸側にも桜つつみ等も含めて高水敷等の河川空間の整備が必要。
ブロックを張った護岸で水面に近づけない。“水に触れ合う”場所の整備。

【河川利用】

堤防道路の整備活用による渋滞解消。堤防道路の連続性確保。
水上バイクの規制を。(騒音、排気ガスなど水質への影響、周囲への危険性)指導とルール作りが必要。
鮎釣りの指導を。(引っ掛け釣りの針が残って非常に危ない。)

【河川管理】

洪水時に川を流下するゴミのデータの収集。川を汚すゴミの原因が見えてくるはず。
坂路に“鍵”は不要。川から人を遠ざけ、ゴミの不法投棄を助長する結果になる。
除草の時期の検討を。
筑後川の菜の花を愛でる人は多い。せめて鑑賞期が終わってから伐採して欲しい。
堤防上の除草の時期を国と市で調整できないか。除草の時期のずれがゴミの不法投棄を助長している。
除草の回数を増やして欲しい。新宝満川の堤防の草丈が高く、絶好のゴミ捨て場になっている。
ボヤ騒ぎなどもあっており地域住民は迷惑している。

【水質浄化】

琵琶湖での事例を参考に、ヨシを利用して浄化(美化)対策を。
礫間浄化等の浄化対策。(多摩川での事例を参考にして。)

【住民連携・啓蒙活動】

自分のすぐ近くの川だから、地域住民は協力を惜しまない。皆で協力したい川づくりは可能。
若い世代の筑後川への愛着の薄さを感じる。多自然型川づくりや子どもたちが川に触れあう(機会をつくる)ことが必要なのでは。
親水護岸もいいが、水の危険を知らせることも大事。川の整備の中に環境だけでなく危険性を体験できる整備を川づくりの一環として取り組んで欲しい。

【その他】

アラセ川の排水計画について。
新宝満川へ仮設橋を設置し、野球場へのアクセス改善を。
「筑後川」林イクマ著
(感動的図書、筑後川の歴史等を紹介)

懇談会の写真





流域 1 万人だより VOL. 19

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

8月25日(水)に山川校区公民館にて
「筑後川の今昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
69名の地域住民の方から活発な意見が出されました！！

出席者	
国	14
県	2
市	4
住民	69

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

神代橋上流など昔は川の中に砂がたくさんあった。治水上問題なければ復元を。

【河川利用】

ジェットスキーをする人の利用時間が早くて困っている。ルールづくりが必要。

【治水対策】

神代橋上流の治水対策を下流同様着実に進めて欲しい。
太郎原の湾曲外部が洪水時に水が入ったりして不安だ。早急に堤防強化対策を実現して欲しい。
神代橋下流の柳や中州は治水上問題ないのか。
昔の堤防は低かった。このため昭和28年水害の時は大被害が起こった。

【江川排水機場の内水対策について】

太郎原地区はすり鉢状になっていて、周囲で一番排水条件が悪い。
江川の改修工事が進んでいないため、排水機をフル運転することができないようである。

【流域管理】

久留米市内にあるため池の管理も行って欲しい。
長期的な視点に立って、保水能力確保のためにも山の管理を行って欲しい。

【河川管理】

国・県・市でばらばらに除草を行って“虎刈り”になっている。同時に行えば効率的である。

【その他】

堤防から排水や泥が流れ落ち、民家の玄関まで流れ込んでくる。何とかして欲しい。

懇談会の写真



流域1万人だより VOL.20

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

大川コミュニティセンターを訪問し、お話しを伺いました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月3日(金)に大川コミュニティセンターにおいて、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	4
県	1
市	2
住民	7

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は中島の砂場でしじみを取っていた。大中島でも泳いでいた。干潮時になると1/3は砂浜になった。今はガタばかりになっている。夜明ダムができた頃から、砂洲が少なくなった気がする。砂利採取も影響しているのではないかな。

諸富橋の所でよく泳いでいた。そこには川エビやトビハゼもたくさんいた。

昔は水がきれい、取水したアオを売る「水売り」の商売があった。

【ゴミについて】

漁連所有のゴミ回収船が海苔養殖の時期だけ稼働している。通年作業すればもっと良くなるのでは…。棧橋付近で海苔業者が種付けの準備作業をしているが、ゴミがそのままになっている。改善して欲しい。昔は権利を持った人が焚き物にするためにヨシを刈っていた。今は枯れたヨシがたまり、ゴミ捨て場と化している。不法投棄を助長することにも困っている。年に1回はヨシを刈って岸の掃除をして欲しい。大川橋下7K200付近の若津港で河川敷に自動車が無断駐車している。住民側に撤去等行えるような権限を与えてもらえないだろうか。

【棧橋問題について】

花宗川沿いに廃船が多い。棧橋等をつくれ、その棧橋が原因でガタがたまっている。

【ガタ土について】

H3年頃までは船の往来が多かったため、ガタがあまりたまらなかった。ガタの堆積には船の出入りが影響している。

【河川空間の利用について】

昔は宝島(6K000付近デ・レーケ堤右岸側の島)で花火大会を行っていた。現在はヨシ原ばかりでゴミ捨て場になっており、芝生でも植えなければ会場として使えない。ゴミ捨て防止の看板を立てて欲しい。また河川パトロールの監視をもっと強化してほしい。

昇開橋のライトアップは不十分。大中島、宝島からもう少しライトをあてたら良い。昇開橋の遊覧船など出せたら良いと思う。

【その他】

以前は若津港と浮き棧橋付近には公衆トイレがあって、大変便利だった。

干潮時は浮き棧橋が役に立っていない。浮き棧橋に船を常時係留する一部漁業関係者もいて、浮き棧橋利用に支障が出ている。

最近エツやハゼ、川エビなども少しずつ増えてきているように思う。

筑後川は大きな資源である。大川を観光的に発展させるために、船の数を増やしたい。東京などからもタイ釣りにやってくる。筑後川から島原へ出られるようになると更なるニーズが生まれる。

地域代表者ヒアリング時の写真

